

明るく元気の出る町

平成6年3月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1994

3

NO.468

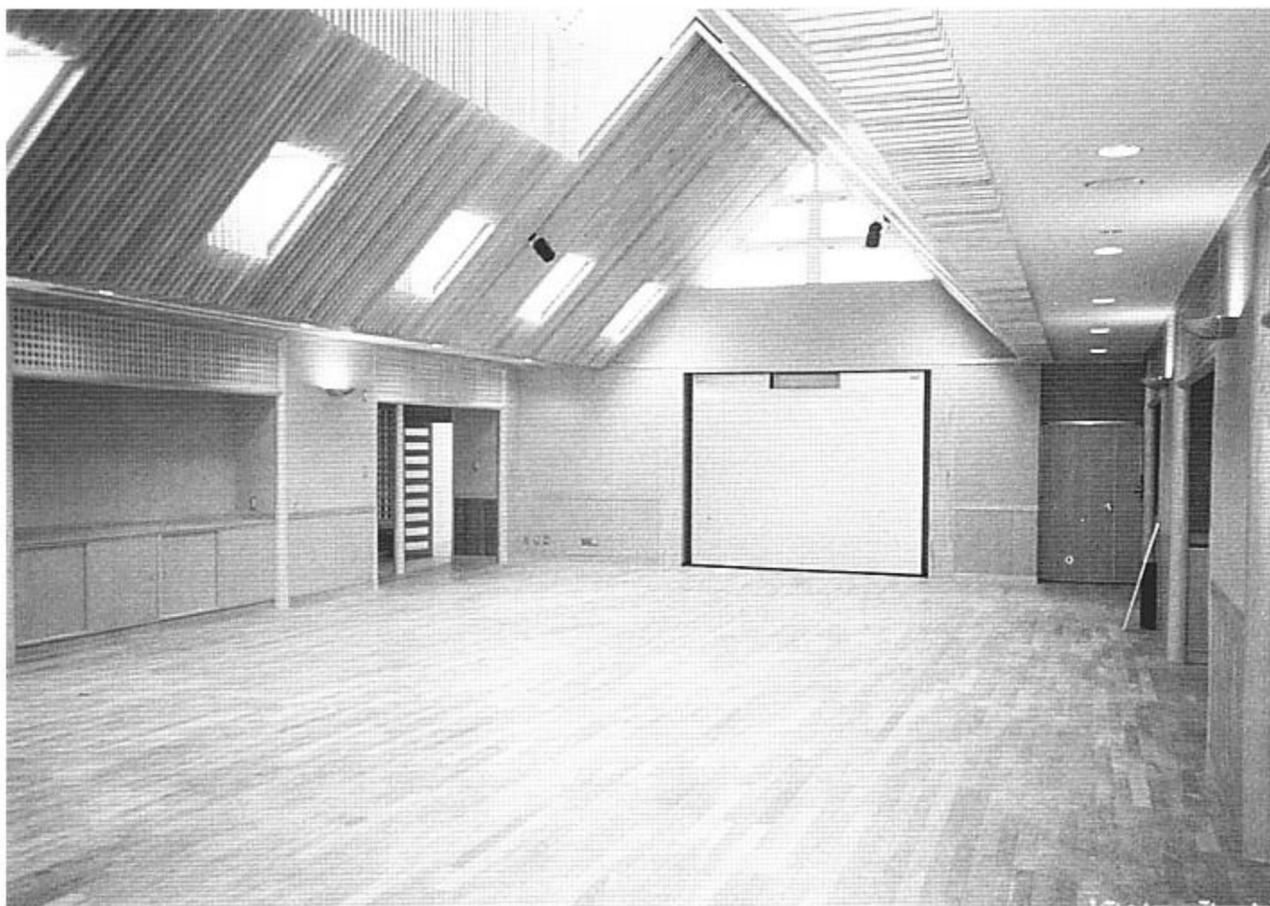


八塩ウインターフェスティバル
2月15日・親子雪上運動会での1コマ



デイサービスセンター
在宅介護支援センター

ヒノキの香りいっぱいの
大きなお風呂が自慢



▲玄関から入ると広くて明るいホールがあり、ゆったりとしたスペース。
全館床暖房であたたかい。

『いちよろ館』オープン

「長寿社会を共に寿ぐ町」の拠点となるデイサービスセンター、介護支援センターは、昨年七月から工事が進められていましたが、このほど完成し、三月一日にオープンしました。
同センターは、寝たきりや身体の弱いお年寄りの方々が通いながら、楽しい一日を過ごすことができるように配慮されています。
センターの利用方法やサービスの内容などをレポートします。

◆デイサービスセンター

六十五歳以上で体が不自由な方や日中一人で生活するのが困難な方が、軽い運動や介護を受けながら楽しく過ごしていただくと共に、介護している家族の負担を少なくするための支援施設です。

☆サービスの内容

▽生活指導・介護

日常生活の過ごし方や趣味を通じた生きがい講座を行ったり、身体の状態に応じた介護を行います。

▽家族介護教室

介護している家族を対象に介護の仕方や研修を行います。

▽健康チェック

保健婦や看護婦が利用者に対して血圧測定などの健康チェックやアドバイスを行います。

▽入浴サービス

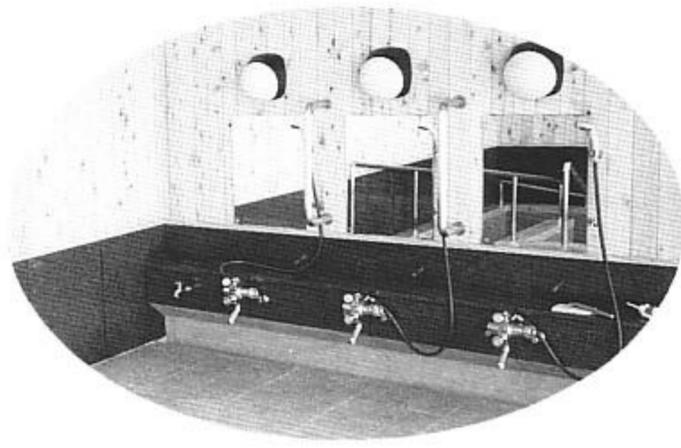
身体の不自由な方でも楽に利用できる浴槽、車椅子や座ったままに入れる浴槽、寝たきりの方でも入れる浴槽を準備しています。もちろん、介護員が入浴のお手伝いをします。

▽給食サービス

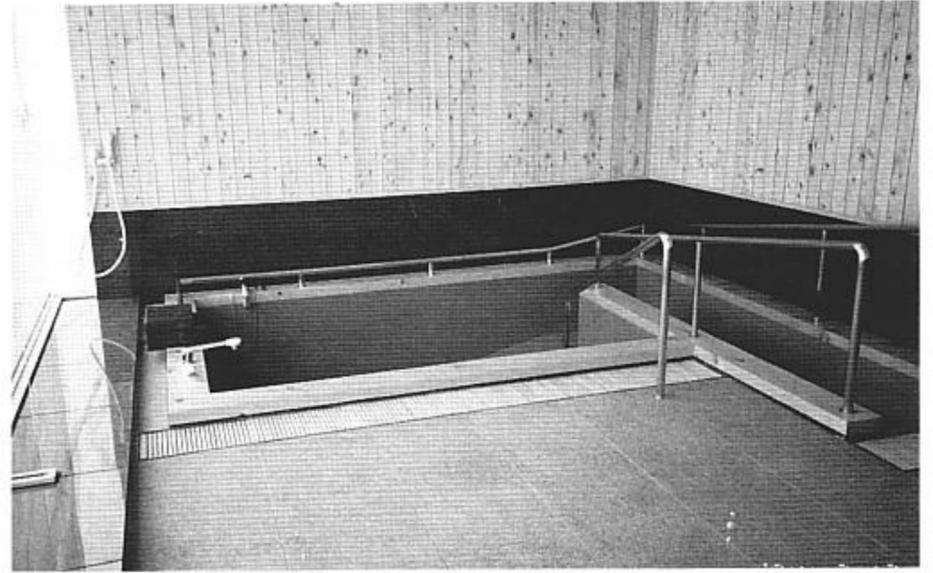
利用者の健康に留意した食事を食べていただきます。

▽送迎サービス

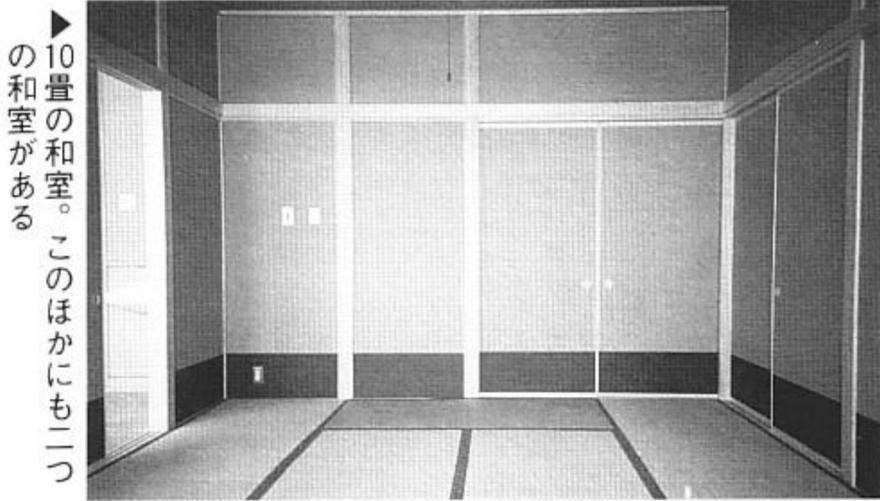
乗り降りも楽に車椅子のままでも乗れる専用バス、寝た



◀風呂の洗い場はまるで温泉旅館。床暖房なので座っても「ヒヤッ」としない



▲ヒノキの香りいっぱいの大きな浴室が2つ



▶10畳の和室。このほかにも二つの和室がある



◀渡り廊下で東光苑とつながる



◀東光苑を増築したショートステイ専用居室。三部屋で八人の利用が可能

ままでも乗れるバスを準備して、利用者の自宅近くまで送迎します。

☆利用料

一日当たり、利用者は五〇〇円（食事、介護材料代）、介護者（食事代）は三五〇円です。

☆申し込み方法

ご利用になる場合は、申請書、誓約書、医師の診断書が必要ですので、東光苑、又は役場福祉係、社会福祉協議会に連絡してください。

◆在宅介護支援センター

お年寄りと生活している家族のさまざまな介護の悩みや問題などの相談、保健・福祉サービスの紹介や申し込み手続きの代行など、介護についての総合的な窓口です。また、保健婦や介護専門の職員が、健康相談や介護指導に当たりながら、お年寄りの家庭に出向いて、健康チェックや介護指導をする施設です。

☆利用できる人

身体が弱い方や寝たきり、痴呆などで日常生活に不自由している六十五歳以上の方、介護している方が利用できます。

☆相談方法

保健婦と介護福祉士（介護の専門員）を配置しており、相談に応じます。主な相談内容は、健康管理や介護方法、介護用品の紹介や使用方法、保健福祉制度の紹介や申請手続きの代行などです。

▽電話相談

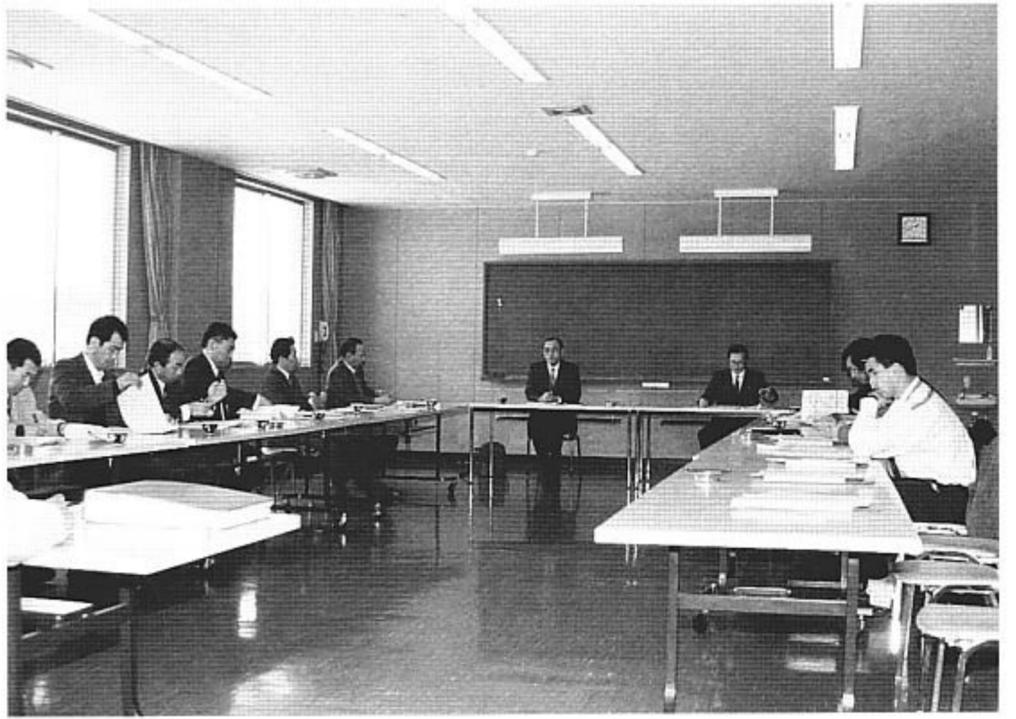
二十四時間いつでも、介護の相談などができます。（夜間は東光苑の職員が相談に応じます）

▽面接相談

施設までお越しいただくと、係員が相談に応じます。介護用品の展示なども行っています。

▽訪問相談

必要に応じて、自宅に出向いて相談を行います。



▲会議員20人で発足した農業振興対策会議

「展開は世界農業の動向」を念頭に

町農業振興対策会議・初会合

ガット・ウルグアイ・ラウンドの農業交渉が、昨年十二月十五日に実質的に妥結。そこで町では、本町農業の諸問題を総合的に検討し、世界の中の東由利農業を念頭にした一層の農業振興を図ろうと「町農業振興対策会議（議長・阿部幸悦町長）」を設置。二月八日に一回目の会議を有鄰館で開いて、農業合意の動向についての勉強会を行いました。同会議の委員は、町、議会、JA、共済組合、農業者など二十人。

勉強会では最初に議長の阿部幸悦町長が「コメの部分開放が決定した事により、今までの『日本の中の東由利農業』から『世界の中の東由利農業』という考えに立って農業振興対策を行わなければならない。この会議での意見を今後の対策に生かしていきたい」とあいさつ。引き続き県由利農林事務所の岩谷里美農務課長が「ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意をめぐる動向について」と題して、日本の食糧の自給率、ガット・ウルグアイ・ラウンドの合意内容、県での対策などの概要を説明。この中で岩谷課長は「平成七年度には、単純に考えると三七八、〇〇〇トンのコメが輸入される。これは現行の他用途利用米の生産面積である八九、七〇〇畝に匹敵することから、

実質的な転作の強化につながる懸念される。輸入米を加工用に向けるか、主食用に向けるか、飼料用や海外援助用に向けるかなどを含めて、取り扱いは今後の推移を見守る必要がある。県では緊急農業農村対策本部や県民会議を設置しており、市町村の要望が国の施策に反映されるよう努力したい」と、今後の対策について慎重に見守りながら、県と市町村が一体となって国に働きかけていくことを強調しました。

格の低迷が続いている現状を克服するために、県では優秀な種雄牛を確保すべき」、「他用途利用米を売渡限度数量に入れるような制度改正や、他用途利用米価格を最低でも政府米価格で維持するなど、価格を下げない対策を講じてほしい」という提言が出され、活発な意見交換となりました。

他用途利用米が1割減少

6年度水田営農活性化対策

平成六年度水田営農活性化対策の概要がまとまり、転作等目標面積、他用途利用米数量が減少、事前売渡限度数量が増えることになりました。

これによると転作等目標面積は二十四畝減の百九十四畝、他用途利用米は三万一千四百四十畝（七百八十一袋）減の十七万八千九百二十畝（五千九百六十四袋）、事前売渡限度数量が十六万四千二百六十二畝（五千四百七十六袋）増の四百五十五万六千八百八十畝（十五万一千八百九十六袋）になりました。

転作等目標面積、他用途利用米が昨年比べて約一割減少したことについて町では「昨年の冷害で秋田県の転作面積が他県に比べて大幅に緩和された。このため他用途利用米も減少したのではないかと分析しています。



▲55人が出席した祝賀会

八塩ダム完成30周年を祝う

観光拠点としても整備を

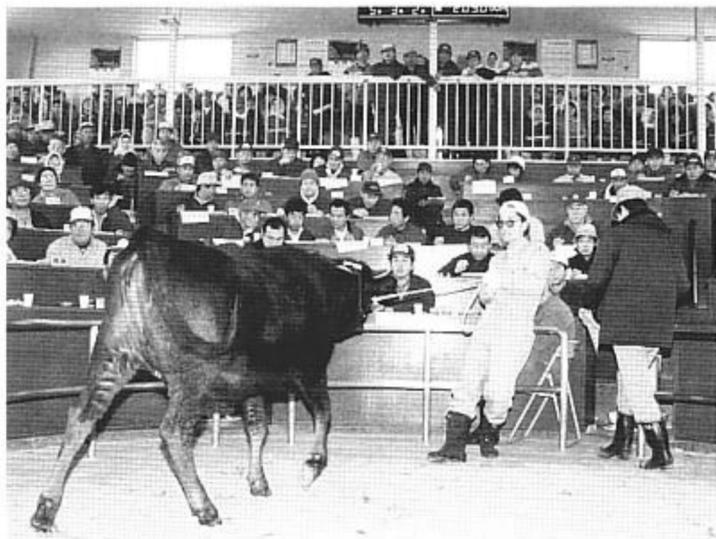
農業かんがい用ダムとして建設された八塩ダムの完成から三十周年の節目を祝う「八塩溜池竣工三十周年記念祝賀会」が二月十日に有鄰館で行われ、関係者五十五人が出席しました。

八塩ダムは当初、玉米地区の団体営事業として計画されましたが、石沢川を主水源とする旧玉米、下郷、石沢、小友四か村の恒久的なかんがい用水を確保するため、県営事業として施工されるよう昭和二十五年に関係機関に陳情、翌二十六年に大規模県営事業として採択され、十二年の歳月を経て、三十七年に竣工をみたものです。

総事業費は二億五千八百八十二万円、

2月子牛市場

1頭平均1万4千円安でスタート



▲前回より安値でスタートした初セリ

受益面積七百九十二公頃、関係農家戸数九百六十戸、貯水量約九十六万トンのダムとして、干害防止や農業経営の安定と合理化に役立ってきました。

祝賀会では、主催者を代表して本莊市東由利町土地改良区の井上一郎理事長が「八塩ダムは昭和三十七年完成以来、農業用水の主水源としてなくてはならないダムである。平成元年の干ばつの時もダムのお陰で被害の発生がなかったことは記憶に新しい。老朽化のためか漏水が多くなり、今後は堤体の修繕を含めた大規模な改修が大きな課題となっている。より一層のご指導をお願いしたい」とあいさつ。引き続き、

渡辺与七氏（前管理人・田代）に感謝状が贈呈されました。

この後、柳田弘本莊市長、阿部幸悦町長、鎌田誠治県由利農林事務所長が祝辞を述べました。この中で阿部町長は「八塩ダム周辺は、本町の観光拠点である。黄桜まつりをはじめ、年間四万人を越える観光客でにぎわっている。今後も、農業用水のみならず一層の整備を進めて行きたい」とあいさつしました。

参会者は、三十年の歩みを振り返るとともに、今後のダム周辺の開発に活発な意見交換をしていきました。

た。また、価格を昨年の二月市場と比較すると去勢牛で五四、〇六四円、雌牛で一九、三八四円それぞれ下がっています。

市場では初セリを前に由利畜産農業協同組合連合会の三浦孝郎会長が「今年度は年間四五〇〇頭の上場を予定している。牛肉の自由化や景気の低迷などで依然厳しい状況が続いているが、輸入牛肉に負けない立派な牛を生産しなければならぬ。九月からは宮錦、糸勝、さらに十一月には秋宮の子牛が上場される予定で、市場でも大きな期待を寄せている」とあいさつ。この後、市場関係者が鏡開きを行い、市場内の無事故を祈願しました。

今年最初の子牛市場が二月八、九日に本莊市の由利家畜市場で行われました。本町からは八日に一三三頭の子牛が上場（内一二三頭売買成立）され一頭当たりの平均価格が二八七、二五〇円、一二月に比較して一四、四六八円、昨年同期と比較して四四、三四二円それぞれ下がり、関係者の表情も今ひとつさえない初セリとなりました。この内去勢牛は一頭平均二八七、二五〇円、雌牛は二三八、四一〇円となり、十二月に比較して去勢牛は四万円下がったものの、雌牛は五万円余り上昇しました。

はい！
役場です

道の駅の愛称

『黄桜の里』に決定

駅名は「老方」と指定

平成七年度の完成を目指して老方で工事が進められてる道の駅の愛称が「黄桜の里」に決定しました。応募したのは中通の佐藤富美子さん（二十八歳）と大琴の大口向志穂ちゃん（六歳）の二人。また、道の駅の駅名は、県で「老方」と指定しています。

十二月二十四日の役場通信で道の駅の愛称を公募した結果、町内から百十三点、町外から六点の計百十九点の応募がありました。これを受けて町では、議会、各団体長、青年、婦人、老人の各層の代表者からなる道の駅愛称審査会を一月二十九日に有鄰館で開催。



大日向志穂ちゃん



佐藤富美子さん

審査会では「東由利のイメージアップにつながり、PR効果が大きいもの」として、十八点を選抜し話し合われました。中でも町のイメージとして県内でも知名度の高い「黄桜」を愛称の中に取り入れることとし、「黄桜の里」に決定したものです。

道行く人々の心を和ませるようには「東由利の花である黄桜が、養施設、ショッピングセンターの建設が予定されています。

産業課、建設課に
直通電話を設置

役場第二庁舎の産業課、建設課に直通電話が設置されました。

なお、直通電話が話中の場合やその他の課への連絡は、今までもおり69-2110の代表番号に電話すると各課に転送されます。

《直通電話番号》

◆産業課 69-2116

◆建設課 69-2115

町功労者

長沢毅元 議長逝去

町功労者で元町議会議長の長沢毅氏が、病氣療養中のごとこ二月二十日永眠されました。

八十一歳。

氏は、昭和三十一年東由利村議会議員に当選し、以来昭和五十五年七月に退任するまで二十四年の長い間議会議員の職にあり、この間、土木常任委員長、副議長を歴任するほか、四十三年八月から議長

の重職を担うこと十二年、議会の適正な運営と町勢の安定

伸長に尽力されました。

また、外においては、由利郡町村議会議長会、秋田県町村議会議長会の正副会長を歴任し、広く地方自治の向上発展に寄与されました。

一方、昭和三十二年六月から四十年三月までは老方農業協同組合長理事の職にあつて、農業の振興発展に力を注ぎました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

虫歯 なんて ないもん。

1歳6ヵ月児健診より

2月4日・有鄰館



◀遠藤 吉明くん
(横渡・茂さん二男)



◀畑山 翔平くん
(横渡・剛さん長男)



◀畠山 卓也くん
(袖山・和雄さん二男)



◀阿部佑里絵ちゃん
(野田・宇左工門さん二女)



◀佐藤 恵介くん
(下通・秀俊さん二男)



◀遠藤 温美ちゃん
(小倉・薫さん長女)



◀佐藤真奈実ちゃん
(葎沢・正博さん二女)



◀高橋 謙聡くん
(松柴・覚さん長男)



◀阿部 文和くん
(小倉・文造さん長男)



◀高橋 沙季ちゃん
(十二ノ前・京一さん二女)



◀佐藤 明良くん
(下通・博之さん長男)



◀佐々木夏美ちゃん
(新町・明さん長女)

除雪オペに防寒服が

「寒い中の除雪作業はとて大変そう。これからも体に気をつけて頑張ってほしい」と宮の前の木島トキ子さんが、役場の除雪オペレーターに防寒服九着を寄贈しました。

木島さんは、自分で縫製業を営んでいることもあり、余ったキレなどを利用して、防寒服を作ったものです。



▲防寒服を寄贈した木島さん(写真右)と喜びの除雪オペレーター

除雪オペレーターは「寒い中の仕事は大変だが、心温まるプレゼントに感謝している。これからも頑張りたい」と話しています。

役場閉庁時は連絡口に書類を

「早朝や夜間でなければ、役場に書類を届けられない」という方のために「役場連絡口」を正面玄関左側に設置しました。

勤務時間以外でも書類を入れておくだけで、担当課に配



▶役場玄関に設置された連絡口

19日に東京ドームで開催

はつらつ夢の球宴

「東由利誕生四十年記念・東京ドームはつらつ夢の球宴」が、今月十九日の午前九時三十分から十一時五十分まで、東京ドームで行われます。なお、観戦は無料。お問い合わせは役場企画課まで。

映像で見る昭和史 を寄贈



ビデオ全32巻が株大沼組から公民館に寄贈されました。

東由利の方言を考える 続編が完成、2千円で頒布



昨年の三月に当時の高瀬小学校長の佐藤貢先生(現大内町岩谷小学校)が作成した「東由利の方言を考える」の続編がこのほど完成しました。非売品ですが、二千円で頒布しています。(取扱店・老方「ひてりや」)

第10回 大平雪まつり

好天に恵まれ3千人が入場

第十回大平雪まつりが二月五、六日の両日、町営大平スキー場で行われ、両日とも好天に恵まれ三千人の人出でにぎわいました。今回は、九つのイベントや出店のほか、五日の午後五時以降は全リフトが無料、六日は距離スキーが無料貸し出しされるなど、スキー場ならではのサービスが行われ、参加者から好評を得ていました。

今回の新しいイベントは、ゴミ袋を敷いてゲレンデの頂上からすべる「ヒップヒップスキーレース」、ビニール袋を履いての「秋田県選抜雪上相撲東由利場所」、特別ルールを採用し五人一組で雪合戦を行う「秋田県中央地区選抜雪玉合戦東由利大会」、ソリで滑り降り、ほくく前進で坂を駆け上がり、さらにカップヌードル早喰いをセットした「雪上底抜け脱線ゲーム」の四つ。どのイベントも子供から大人まで楽しめるとあって会場は大にぎわいでした。



▲雪まつり名物の花火大会。150発の花火に会場内は大歓声

夜の会場内は幻想的な雰囲気。恋人たちには最適!!



▼寒いときは、あったかいうどんがおいしい



▲スキークラブでは特別料金でスキーをチューンアップ



▲牛モツ汁、うどん、焼きおにぎりの早喰い大会には大勢の子どもたちが参加が

スキー大会・各部門1位

(敬称略)

《大回転の部》

(小学校)

1年男子 長沼 敬晴 (高瀬)

同 女子 鈴木 翔子 (大琴)

2年男子 佐野 新 (八塩)

同 女子 小松るみ子 (高瀬)

3年男子 工藤 邦彦 (高瀬)

同 女子 高橋由貴子 (高瀬)

4年男子 長沼 淳 (高瀬)



同 女子 小松ゆかり (八塩)

5年男子 小松 裕介 (高瀬)

同 女子 遠藤 貴恵 (高瀬)

6年男子 遠藤 亮太 (高瀬)

同 女子 畑山 淳子 (大琴)

(中学校)

男子 小笠原秀和 (東中3年)

女子 畑山 裕美 (東中1年)

(一般)

男子 阿部 正 (横渡)

《タイムチャレンジの部》

男子 阿部 大真 (高瀬小4年)

女子 高橋 奏子 (高瀬小4年)



▲あざやかなイルミネーションをかもしだすたいまつ滑走



▲特別ルール採用の雪玉合戦



▲ビニール袋をはいての相撲大会。足がすべって思うようにいかない!



▲スレードサイクルは人気のま

スレードサイクル 3台を町に寄贈

東由利スキークラブ

「大平スキー場の楽しさアップになるよう、スキー場で使ってほしい」と東由利スキークラブが町にスレードサイクル3台を寄贈しました。

スレードサイクルは三輪車のタイヤ部分にスキー板がついているもので、雪まつりでは子供から大人まで幅広い年齢層に利用されました。利用者からは「最初はもの珍しくて乗ってみた。スリルがあつておもしろい」と大好評。大平スキー場担当の町公営事業課では「スキー場利用者にはいつでも使えるようにし、無料で解放したい」としています。

親雪の心でスキー場整備を

町長 日記

悦 幸 部 阿 町 長

大平スキー場は、国道一〇七号から車で五分のファミリースキー場として、わが町のみならず近隣の市町村からも大変好評を得ております。また、スキークラブには指導員資格のあるクラブ員が多く、いつでも希望に応じて親切な指導体制がとれることも人気の一つであります。しかしこのごろ施設の老朽化が心配されているところであり、町では平成五年度に専門家に依頼し、あらゆる角度からどう整備するべきか調査してもらいました。その結果は、ゲレンデの再整備・リフトの採用・照明の強化・ヒュッ

テ、食堂の拡張等ができれば営業としても十分採算のとれる施設になるという報告でありました。しかし大変なお金が必要になります。また、この頃では年末年始の一番利用客が見込めるときに積雪がありません。こういうことも併せて検討して頂くために、検討委員会をつくり論議して頂きました。その結果、この大平スキー場は家族みんなで楽しめるいわゆる「ファミリースキー場」として整備するべきだという意見でありました。

スキー場の多くは町有地ではありませんが、周辺の地権者の理解が得られればもう少し範囲を広げて勾配の違う四つのゲレンデを造ることが可能であります。初級者から上級者までが楽しめるゲレンデができそうでありました。照明をもっと明るくして、Tバーリフトの勾配などを見直し、小さい子供たちにも安心して利用できるようなしてみたいと考えます。「フランス鴨ラーメン」がメニューに加わり好評を得ている食堂・ヒュッテは、広げる方法も考えてみたいものです。

わが町は三分の一の期間が冬であります。この期間をいかに雪とつき合って行くか、克雪などという大それたことではなく雪と親しむ親雪の精神こそ大切なことかも知れません。そういう心構えで大平スキー場の整備について今、考えています。

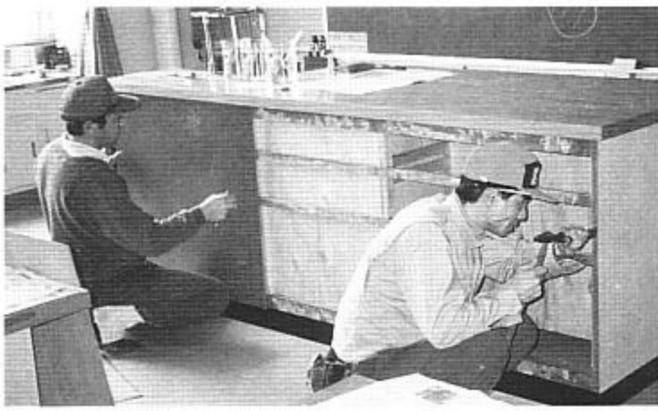
校舎の修理や備品を修繕

町建設技能組合が労力奉仕

町建設技能組合（阿部悟組
合長）の組合員二一人が二月
九日、町内の小中学校や寄宿
舎などを訪れ補修や備品の修
繕をボランティアで行いまし
た。

今回は、机や椅子の修繕は
もちろん、水道設備、戸、建
具などを補修したほか、初め
て大台分校を訪れ、老朽化し
ている雪囲いの修理も行いま
した。

町建設技能組合では「今年
は、多くの組合員の参加者で
幅広く事業を行うことができ
た。私たちのしている事が少
しでも役に立てばうれしい」
と話しています。



▲机を修理する技能組合員

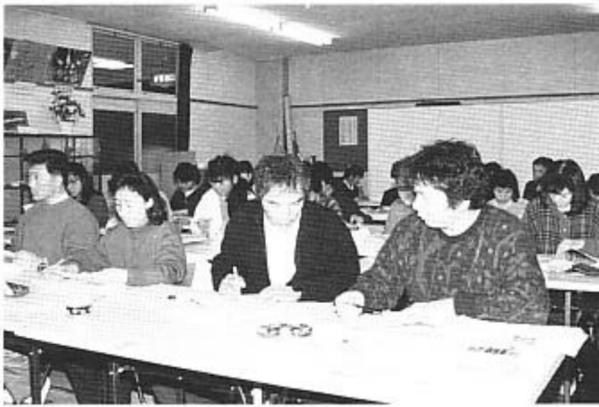
受講者の9割に修了証書

簿記学習講座

町農業委員会（鈴木和夫会
長）が行っている簿記学習講
座が二月二十二日全日程を終
了、受講者の9割に当たる二
十四人に修了証書が授与され
ました。

「記帳実務の基礎となる簿
記を学び、経営の健全化を」
と毎年この時期に行われてい
る講座には定員を上回る二十
六人が受講。今年は十回の講
座の中で、税理士の青色申告
講座も行われ、税金のしくみ
なども勉強しました。

受講者からは「税金の申告
のためにこの講座に申し込ん
だ。ていねいに説明してくれ
るので、分かりやすい。青色
申告講座は来年も続けてほし
い」と大好評でした。



▲参加者の表情も真剣

年代を超えて交流深める

第10回記念麻雀大会



▲麻雀大好き人間が集合

毎年二月十一日の建国記念
日に行われている全町麻雀大
会が今年で十回目を迎え、朋
楽荘で十回記念大会が行われ
ました。

大会には、二十チーム、八
十人が参加。毎回メンバー入
れ替えて三戦の後、順位に従
い四人ずつのグループに別れ
て、勝敗を競いました。参加
者の年齢層が二十歳代から六
十歳代までと幅広いのもこの
大会の特徴。記念大会とあっ
て、一位には全自動洗濯機が
贈呈されるなど、豪華賞品が
多数用意されました。

参加者は「勝敗よりもいろ
いろな人との触れ合いに満足。
年代を越えて交流できるのが
何より楽しみ」と満足そうで
した。



困ったときはお互い様

沼自治会がボランティア

「高齢の鈴木正夫さんの家が雪で大変」と、沼自治会（鈴木長喜会長）では二月十六日、自治会総出で雪よせのボランティアを行いました。

積雪は約一〇センチ。スコップやスノーダンプを片手に、八世帯から約十人が鈴木正夫さん宅を訪れました。軒下の雪や屋根の雪下ろしを行い、さらにその雪を一台のトラックで近くの川へ運搬。約三時間の作業で、屋根まで届いていた雪が人の背丈程まで片づけられました。

自治会長の鈴木さんは「配り物をしていた時、正夫さんの家を見て、とても気になった。各世帯に呼びかけたところ、何の異論もなく参加してくれた。同じ地区だし、困ったときはお互い様」と笑顔で話していました。



▲自治会総出の雪よせ

雪上で交流深める

雪んこふれあいの集い



▲元気いっぱいの子供たち

「自然との触れ合いを通してたくましい心身と友情をはぐくもう」と、今年で九回目を数える雪んこふれあいの集い（町青少年育成会・町教育委員会・町公民館共催）が二月十八日、町民グラウンドで行われました。

集いには、町内三小学校の四年生以上の児童と東由利中学校生徒の合わせて四百五十人が参加。箱ぞりレースや雪上ドッジボールなどに歓声を上げていました。

箱ぞりレースでは、四人一組で二百メートルのコースを八組でリレー。雪に足をとられたりしながらも力を合わせてゴールを目指していました。

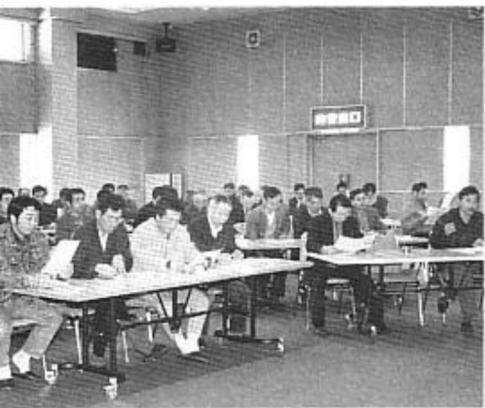
冷害克服には「健康な苗づくり」を

中核農家研修会

「昨年の冷害の実態を把握し、農業経営に役立てよう」と二月十八日、中核農家研修会が有鄰館で行われました。

研修会には、本町の中核農家約七十人が出席し、本荘農業改良普及所の吉田忠氏が「平成五年冷害の実態と今後の課題」と題して講演。この中で吉田氏は「昨年の冷害は長期の低温が主な原因で大変な被害であった。過去の統計では二年連続の冷害が八回ある」と冷害の実態を説明した上で「冷害克服のためにも適地適品種を心掛け、健康な苗をつくりぬる事が大切。丈夫な苗を作ることが冷害克服の第一歩」と苗作りの大切さを強調しました。

参加者は、間もなく始まる農作業に役立てようと真剣に聞き入っていました。



▲真剣に聞き入る参加者

親子の交流を中心に

大琴小で 1/2成人式



▲親子のきずなを確かめ合った1/2成人式

「二十歳の半分の十歳を迎えたことを喜び、気持ち新たに頑張ろう」と大琴小学校が毎年行っている「1/2成人式」が二月二十三日、同校の体育館で行われました。

今年の対象者は、四年生十六人。今年は、「1/2成人」の親も出席して「親子のふれあい」を中心に式が進められました。式では最初に佐々木武校長から「1/2成人」一人一人に証書がわたされた後、親から子へのメッセージと子供の作文の発表があり、親は誕生から今までのエピソードや子供への思いを、子供は将来の夢や誓いを読み上げ、会場は終始ほのほとした雰囲気につつまれていました。

32チームが熱戦

町民綱引き大会

「町民綱引き大会」が二月二十日、健康増進センターで行われ、三部門に三二チーム、約三五〇人が参加して行われました。各部門の一位チームは次のとおりです。

《男子の部》◇新町チャンプ
《女子の部》◇歳スパーレ
《小学生の部》◇新町ストリートファイターズ



▲32チームが熱戦

HIGASHIYURI
東由利の話題
TOPICS

町の宝もの

22

五海保（須郷田）の

「シメハリ」

シメハリの行事はかつて旧暦の九月一日に行われていましたが、今は八月三十一日に悪病退散祈願として、部落への出入口三か所にシメを張っています。全体に鬼の形に似せて作られ、鬼は



（文・畑山昭一）

山、人は里にいるとの考えから、シメも山の杉と里のワラで作るのだと伝えられています。ヘイソク、とうがらし（鬼の角）、ナンテンの葉、節をそろえたミゴの下げフサ、ワラと杉の葉の目玉ようのもの、ワラの鉄棒、固定木からできています。

須郷田のものはナンテンではなく笹の葉で、これは「ささ、なつてもない」との語呂合わせもあるようです。

※蓑沢のシメブチ・土場沢のメ縄打ち・五海保・須郷田のシメハリは、一昨年秋田県立博物館に展示され、本町の誇る大事な文化財です。

二五〇万円を貸与

平成5年・若者定住促進事業

八〇万円の祝い金

「未来ある若者の定住を促進し、元気の出る町に」と、若者へ資金貸付や祝い金を支給する若者定住促進奨励措置事業の平成五年の実績がまとまりました。これによると、資金貸付では、家屋の新増築などの定住環境整備資金貸付が二件の二百万円、

東由利 Hターン@情報

必要な物資を購入する場合の物資購入資金貸付が二件の百五十万円となっており、新婚旅行資金の貸付はありませんでした。一方祝い金は、Uターンや新規学卒の方への就職祝い金が十三件の四十五万円、結婚の仲人への縁組世話人報奨金は七件の三十五万円となっています。担当の企画課では「元気あふれる町になるためにも、若者の一層の利用を期待したい」と話しています。

愛育班から おかあさん登場

伊東チアキさん（蔵）



愛育班活動をして丸二年。誰のためでもなく、自分のためと思いい活動をして来ました。輪番制という事もあり、最初はあまり乗り気ではありませんでしたが、活動して行くうちに、健康や食生活の改善など、日常生活の心掛けを再認識させられる事が多くありました。みんなが健康について再認識できるといふことから「輪番制」は大切だと感じています。

月に一回の分班長会議では、「愛育の心」を唱和します。その中で私が一番好きな言葉が「生きることの価値は、何かができるよろこびを味わうことです」、「どんなことをするときも人の和がたいせつです」の二つ。この言葉に触れただけでも、愛育班の役員をやってきて良かったと感じています。

これからの人生でも、この二つの言葉をかみしめて、頑張っていきたいと思っています。

70歳からは老人保健に

国民健康保険や社会保険などの適用を受けていた方が七十歳になると老人保健の対象になります。

原則として七十歳の誕生日の翌月から対象になりますが、一日生まれの方は誕生日から対象になります。今年は大正十三年一月一日から十二月一日まで生まれた方が、老人保健の対象になります。ただし、身体障害者手帳一級から三級の該当になる方は、六十五歳から老人保健の対象になります。

病院で支払う医療費は、外来は一月千円（総合病院では各科ごと）、入院は一日七百円（老齢福祉年金受給者で住民税非課税世帯の場合は、一日三百円で二か月間の負担）になります。例外として①医師が治療に必要と認めたらあんま、はり、灸を受けたときやコルセットなどの治療器具を購入したとき、②完全看護以外の病院へ入院して、医師が付添い看護婦を必要と認めた場合の雇い費用③緊急のため保険証を持っていなかったときなどは、本人の一時立替払いとなります。（後日に払戻）偽りなど不正の行為で老人保健の医療を受けた人がいる場合は、支払った医療費の全部または一部が徴収されます。また自動車事故でケガをした場合は、加害者と示談を結ぶ前に役場の老人保健の係に相談してください。詳しくは、役場町民課福祉係（☎6912110 内線58番）まで。



もうすぐ1年生だも～ん

来月小学校に入学する子供たちは、八塩小14人、高瀬小30人、大琴小8人の計52人。「早く学校に行きたい」と元気いっぱいの子供たちと保育園の先生のメッセージを紹介します。

いきいき、グロースアップ

少人数でも元気いっぱい

みどり保育園・畑山玲子先生

やきいもやりんごがりなど、今までやったことのない事をいっぱいやりました。一人一人が「自分」というものを持っている個性的な集団。少人数だけれどもいつも元気いっぱいでした。これからも今までの明るさを失わず、自分のやりたいことを精一杯やる人になってほしいと思います。



▲14人と人数は少ないが、元気いっぱいの明るいクラス(円内)は畑山先生

八塩小・14人(男8人、女6人)

住所	氏名	保護者
黒瀬	佐藤 志津江	幹夫
〃	八嶋 孝安	俊司
藤沢	佐藤 匡規	正博
向田	渡辺 侑安	健二
〃	横山 一彦	嘉男
田代	長谷山 貴博	博昭
八日町	佐藤 春奈	貴志
五海	保野 裕人	和敏
山崎	大場 望隆	隆
〃	嶽石 望伊	久雄
久保	鈴木 祐子	昇
館合新田	遠藤 未来	正
〃	佐野 瞳	貞雄
〃	高橋 将也	定敏

高瀬小・30人(男9人、女21人)

住所	氏名	保護者
新町	小野 芳順	治
〃	小野 裕基	敏
〃	小松 未佳	与悦
〃	佐藤 秀孝	秀夫
〃	村上 亜美	栄志
横小路	佐藤 麗菜	耕治
中通	小松 裕太	朗俊
〃	小松 弘輝	昌英
下通	小松 清香	重一
湯出野	小野 郁美	源一
〃	小松 静佳	秀栄
寺田	佐藤 裕基	幸透
〃	佐藤 直紀	紀
上里	小野 忠理	子勝
横渡	遠藤 俊也	也茂
蔵	伊藤 美咲	国広
〃	伊藤 翠	彦彦
〃	小松 真希	子信
蔵新田	小笠原 桃子	子悦
〃	小野 沙也	佳一
〃	千葉 里菜	友幸
烏	嶽石 春香	香武
宮ノ前	大日向 誠	照美
野田	遠藤 綾	辰雄
新処	遠藤 眞祈	一巳
〃	遠藤 美加	建一
十二ノ前	阿部 美香	之男
〃	阿部 喜之	之盛
〃	遠藤 翔	治平
小倉	遠藤 亜紀	利美

大琴小・8人(男6人、女2人)

住所	氏名	保護者
須郷	高橋 哲也	伸博
袖山	木嶋 沙織	織史
大琴	梅津 芳史	嘉人
〃	大日向 直樹	和弘
〃	大日向 志徳	健男
〃	佐々木 英貴	安彦
舟木	長谷山 真平	真理子
〃	長谷山 真司	真理子



▲うんどうが大好きで元気いっぱいの仲間(円内)は池田先生

「静」よりも「動」の子供が多いクラス。うんどう遊びが大好きで、ドッジボールやサッカーはとても上手になりました。普段はバラバラのようでもいざとなればチームワーク抜群のクラス。どんなことにも意欲をもって一生懸命に、そして思いやりのある子になってください。

永慶保育園(つき組)・池田薫先生

チームワーク抜群のクラス



▲元気でパワフル、がんばり屋さんいっぱいの子供たち(円内)は佐藤先生

「一人笑えばみんな笑う」仲良しのクラス。前半は女子が引っ張り、後半は男子が盛り返し、元気でパワフルな子供たちでした。がんばり屋さんが多く、なわとびを毎日練習して、とても上手になりました。小学校に行っても、明るさを忘れず、素直で、元気な人になってほしいと思います。

永慶保育園(ほし組)・佐藤まゆ子先生

がんばり屋さんがいっぱい



「明るく元気いっぱい。妹にもやさしくて、とても良いお姉さんです」とお母さんの幸子さん。

新町・小野美咲ちゃん
(H3・6・17日生まれ)
孝悦さん、幸子さんの
長女

わが家の
アイトル

東由利——ニユースダイジェスト 12

あめの日・あめの日

住吉小児童が
愛校の除雪

「ボクたちの学校はボクたちの手で守ろう」と、住吉小の児童たちが屋根まで続いた校舎軒の除雪作業を行いました。四月十四日が開校記念日にあたる同校では、それにちなんで毎月十四日を愛校日に定めており、除



雪作業は二月十四日の愛校日に行われました。昭和四十八年度は有史以来の豪雪と言われた年。この年も住吉地区では積雪が二メートル近くまで達していました。子供たちのほとんどの家庭では出稼ぎ者があり、除雪作業も手慣れたもの。都会の子には真似のできないあざやかなスコップさばきを見せる子供も見られました。家庭の中心である父母の出稼ぎ者が多い住吉小では、心のふれあいの場にこうした勤労作業や愛校活動を積極的に行っていきました。最近では雪の少ない年が続いたためか、このような話題は少なくなりました。

東由利の文芸

せせらぎ句会(二月句会)

- ◆雪解けよ流れ増したる陽の和み 小松 忠正(下通)
- ◆雪解けの崖の明りに小虫はう 工藤 武雄(山崎)
- ◆雪解けや生ある笹の跳ね上り 佐藤 正義(湯出野)
- ◆雪解風乾きて昼の月薄し 小松 女沙(下小路)
- ◆とざされし心広がる雪解時 小笠原亮子(蔵新田)
- ◆雪解けや波のリズムに乗る鴉 阿部 ナミ(蔵)
- ◆釣り上げし鮠の勢雪解川 小松順之助(中通)

「基本的には体を動かすのが好き」と言う彼女の一番の楽しみはスキー。最近では友達と安比スキー場に行ったことが楽しい一時だったようです。「スキーはスピードとスリルが最高。でも私はボーゲンでゆっくりです

小野 薫さん(23歳)
館合新田・高瀬小勤務



「基本命張っている人」との事。「東由利は人の雰囲気がとても良い所。お酒を飲んでいても和やかに話せる人が多くて楽しい」と、町の魅力を話しています。次は八塩小に勤務している佐々木珠枝さんにリレーします。

- ◆雪解水逃げ所無き車間距離 鈴木 要(沼)
- ◆日輪に芽吹くものみな天を指す 高橋ヒデ子(横渡)
- ◆木芽晴さざめき合える裏の山 菊地 常作(湯出野)
- ◆芽吹く山峠に鎮座の道祖神 佐藤 貞(蔵)
- ◆木の芽和え姑の味近く仏前に 遠藤トミ子(小倉)
- ◆一献の木の芽でんがく串青し 阿部 俊子(横渡)
- ◆チェンソーの響く林の芽木太る 小野 貞子(蔵新田)
- ◆木の芽和え亡夫の好み七回忌 小野石路子(上里)
- ◆木の芽晴胸勘定で牛磨く 阿部 澄子(蔵)
- ◆芽吹く木々縄を解かれて背伸びする 小笠原トミ(蔵新田)
- ◆移り来て小宅ながら木芽垣 小松慶治郎(高戸屋)
- ◆胸張って農継ぎし日ぞおらが春 大庭喜右エ門(舟木)

笑顔の子供たち



高橋 定征くん

ぼくの夢は、宇宙ステーションに住むことです。なぜなら、ぼくは宇宙に行くのが夢で、宇宙でくらすたらどんなに楽しいだろうと思ってるからです。しかし、ぼくが大人になっても宇宙ステーションができていないかもしれません。ひょっとしたら、一生できないということになるかもしれません。でも、まだきまったわけではありません。みんなが宇宙ステーションをきずこうという気持ちがあればできると思います。はばたけ未来の宇宙ステーション。



佐藤 明美さん

私の夢は、ペットショップで働くことです。それは、動物が大好きで、毎日動物たちといっしょに楽しく仕事をしたいからです。朝たくさん動物たちが私を待っていると思うと、うれしくて早く行かなければと思うでしょう。お店に行つて生きている動物たちの世話をするという事は、とても大変な事だと思いますが、一生けんめいがんばりたいです。そして、買いに来てくれるお客さんが気持ちよく買い物ができる



小松 俊也くん

るように、見やすくお店もきれいにしておきたいです。

ぼくは、未来の地球はどうなるのかと思います。なぜそう思うかという、今の地球では排気ガスなど自然破壊が進んでいるからです。

美しい地球をよこさないために、太陽のエネルギーを世界中の国々が使うようになればいいと思います。そして排気ガスも出ないので地球がほろびるのも何百年、何千年くらいのびるかもしれません。ぼくの夢は、美しい地球を守っていくことです。

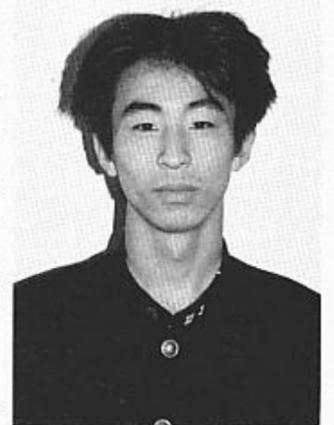
未来の夢は？（八塩小五年生）

この春からは、それぞれ違った進路に向かっていくことになる。今後どんな困難が待ち受けているのか分からない。今は、みんな不安な気持ちでいっぱい

だけけれど、三年間の中で学んだことや経験したことを思い出して、どんな壁でも打ち破ることができると強い人間になりたいと思う。そして社会人としての新しい人生の中でも、多くのことを学び経験していきたい。先生方には、高校生活の中でいろいろなことを教えてもらった。今は感謝の気持ちでいっぱい。これからも私達の成長ぶりを見守っていてほしいと思う。数年後には、大きくて強い人間になって再会したい。三年間本当にありがとうございました。

ハイスクール日記

卒業



下郷分校3年 伊東 和春くん

三年間は短いもので、高校生活も終わりにきている。高校生活では多く

のことを学んだ。勉強はもちろん、勉強以外の普段の生活の中でも学ぶことが多かった。

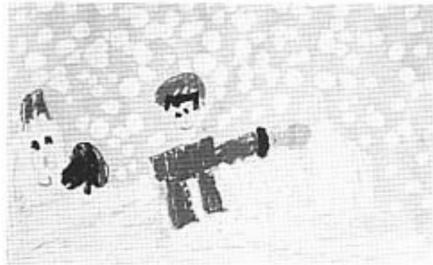
また、京都への修学旅行や文化祭など、いろいろな学校行事で、級友ともたくさん思い出を作ったり貴重な経験をする事ができた。

先生方には、高校生活の中でいろいろなことを教えてもらった。今は感謝の気持ちでいっぱい。これからも私達の成長ぶりを見守っていてほしいと思う。数年後には、大きくて強い人間になって再会したい。

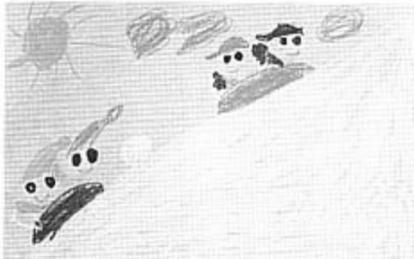
永慶保育園



▲右からよしゆきくん、ゆうたろうくん、こまつみかちゃん、えんどうみかちゃん、さやかちゃん



あべよしゆき（十二ノ前）



こまつゆうたろう（中通）

ぼくの絵 わたしの絵

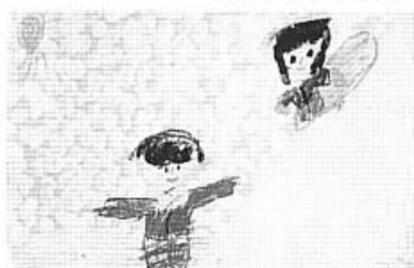
ゆめあそび



こまつみか（新町）



えんどうみか（新処）



おのさやか（蔵新田）

3月→データ東由利

〈1/1~1/31〉

人口 () は前月比

- 男.....2,722人 (2)
- 女.....2,860人 (△4)
- 計.....5,582人 (△2)
- 世帯数.....1,424戸 (1)

() は1月からの累計

- 出生...5人(5) ●死亡...4人(4)
- 転入...5人(5) ●転出...8人(8)

- 火災出動.....0件(0)
- 救急出動.....10件(10)
- 交通事故.....0件(0)
 - 死亡.....0人(0)
 - 傷者.....0人(0)
- 飲酒運転.....0人(0)
- 酒気帯び.....0人(0)

カレンダー 3月の行事

- 3 議会定例会 (10時~)
- 6 バレーボールリーグ戦決勝トーナメント(健康増進センター)
- 14 東由利中卒業式
- 16 八塩小卒業式
- 17 高瀬小、大琴小卒業式
- 19 東京ドームはつらつ夢の球宴 (東京ドーム・9時30分試合開始)
- 27 全町バスケットボール大会 (健康増進センター)



マムシグサ

(サトイモ科)

文・写真 小松忠正

山林の陰湿な場所に生える多年草で、ヤマゴンニヤクとか、ここではヘビノデヤモジともいわれます。地下に蒟蒻こんにやくのような球茎があつて上のほうにヒゲ根が出ています。茎は紫褐色の斑紋があり、葉は長楕円形で縁に鋸歯があります。夏に葉間から花柱をたて、その柱頭に暗紫色の仏焰苞ぶつえんぼう(肉穂花序を包む大形の総苞トウモロコシなどのような一)をつけ、これが秋に赤く熟します。和名は茎の色がマムシのような形からいわれ、球茎を神経痛などにすって用います。

東由利

郷土の野草

No.109

戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

(1/21~2/20)届出

1/3 赤川 雄馬ちゃん(龍範) 美幸(三男横小路)

1/4 渡辺 陽絵ちゃん(泰子) 二女田代

1/5 高橋 聖紀ちゃん(孝紀) 二男新町

1/6 佐藤 美香ちゃん(幸輝) 長女律沢

●ごめい福をお祈りいたします

1/20 島山喜美蔵さん(87ハツエ夫) 宿

1/25 高橋 カヨさん(89富男母館西)

1/24 佐藤 吉二さん(69春一父地下ノ沢)

1/18 小松 徳一さん(73ハルミ夫板戸)

1/10 遠藤 ナツエさん(83喜一母新町)

1/20 長澤 毅さん(81レイ夫中通)

私の好きな風景

コゴミ



春先に取れるコゴミが今、実験農場では最盛期。ひと足早い「春の訪れ」を感じさせます。

(撮影・広報担当)

まごころ

町社会福祉協議会に、遠藤司郎さん(小倉)、五十嵐宗憲さん(上通)、阿部マサエさん(岩館)、高橋富男さん(館西)からご芳志が届けられました。

また、佐藤忠一郎さん(千葉県在住、高屋出身)から町内小中学校の児童、生徒一人一人にスポーツタオルが届けられました。ありがとうございました。

ほっといき ひととき

「1月急いでいく、2月逃げていく、3月去っていく」。誰が言ったか分かりませんが、まったくその通りだと思います。二月は二十八日しかなく、広報係にとっても特に早く感じられました。

3月は年度末という事もあり、何かと慌ただしい季節。学校では卒業式、職場では転勤、異動と、いろいろな意味で節目の時期でもあります。わたくし広報係も三月で丸二年。節目の月になるかどうかは別にして、いろいろな行事に「東由利広報」の腕章を付けて取材したいと思っています。良い情報がありましたらお知らせください。